

5. 学童・思春期の現状と課題

近年、思春期の子ども達のいじめや不登校など心の問題が顕在化し、自分を大切にしたり、自己を肯定的に受け止めることができない子が見うけられます。また少子化、核家族化が進み、幼い子どもに接したことがないまま、妊娠・出産を経て子どもを持つ女性も少なくなく、育児不安に陥るケースも多いのが実情です。さらには国全体として自殺者数が減少しないという課題もあります。命の大切さを理解し、自己や他者を大切にす気持ちを育て、親への感謝の気持ちと共に、親になることの意味と責任を考える機会を持つことで、予期せぬ妊娠の予防に努め、子どもが主体的に考えて行動できるような取り組みが必要であると考えます。

6. 学童・思春期の事業

(1) 思春期ふれあい体験学習

めざす姿

良好な生活習慣の形成とともに、自分を大切にし、自立していく準備ができる

重点目標

1. 命の尊さや親への感謝の気持ちを学ぶ場の提供
 - ・赤ちゃんの触れ合い体験や乳幼児の発達の過程を学ぶことで、命の大切さを理解し、親への感謝の気持ち、他者を尊重する気持ちを持つことができる。

具体的目標値 R5 | R9

I) 赤ちゃんふれあい体験学習・授業の回数

現状		R9年
玉穂中2回	→	継続
田富中1回	→	継続